

令和7年度
事業報告書

一般財団法人電気技術者試験センター

(概要)

令和7年度は、電気主任技術者試験で7万8千人(対前年度362人増)、電気工事士試験で23万6千人(対前年度13,374人増)、あわせて31万4千8百人(対前年度13,736人増)の申込みがあり、計画通り試験を実施した。第一種及び第二種電気工事士試験については、令和7年5月8日(木)CBT試験問題を配信する通信回線に障害が発生し、試験問題の配信(ダウンロード)に時間を要し、一部の受験者に対し、試験開始時間が遅れるなどの事象が発生した。その結果、テストセンターに来られたが、受験できなかった受験者693名(第1種172名、第2種521名)にCBT方式での振替受験の案内を実施した。このうち、再受験者606名(第1種131名、第2種475名)、欠席15名(第1種4名、第2種11名)、返金希望者65名(第1種37名、第2種28名)、期間外受験7名であった。

種子島高等学校での受験者については、CBTの再試験が困難であったことから、5月25日(日)実施の全国一斉試験日に試験センター職員が現地に出向きPBT試験の直接実施を行い、トラブルなく試験を終了した。

公益目的事業については、「公益目的支出計画」に基づき、「電気技術者に関する調査研究事業」及び「電気技術者資質向上事業」の2事業を実施・運営した。

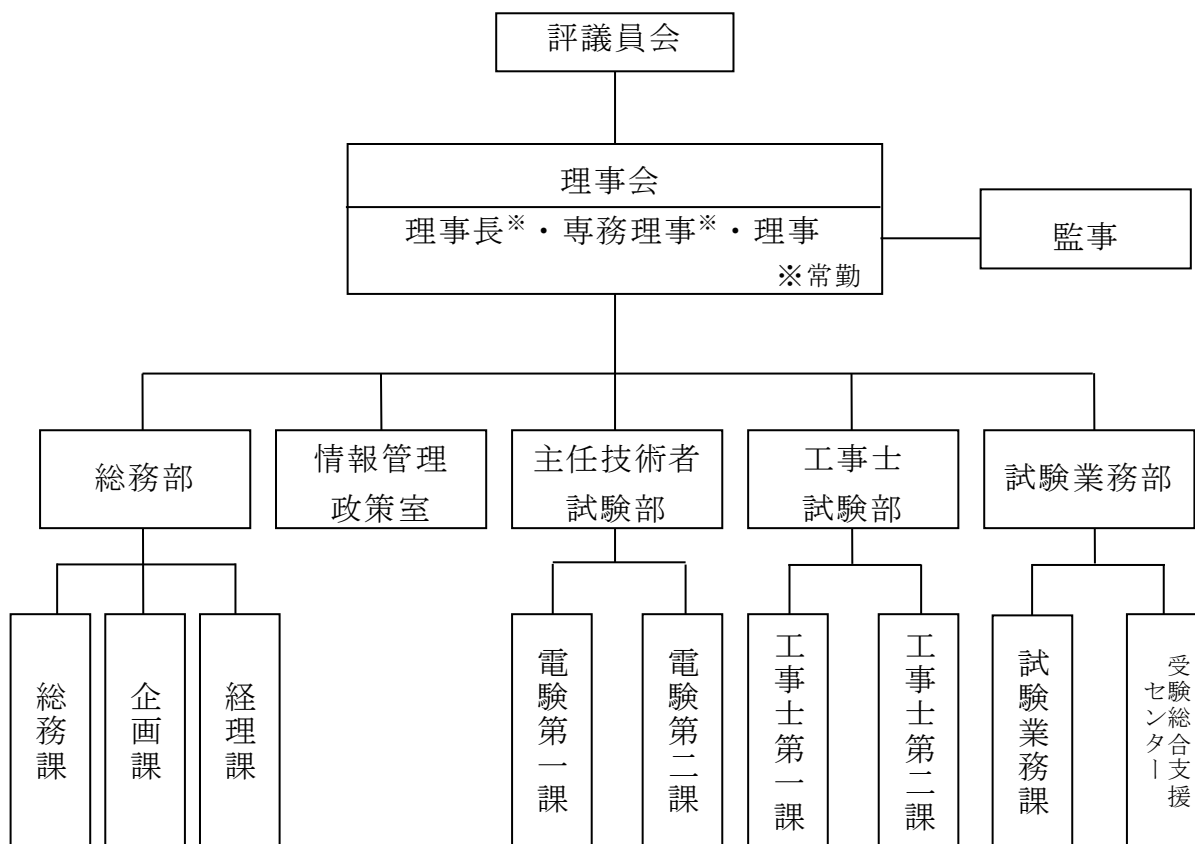
電気主任技術者試験の合格者に対する免状の交付事務を引き続き実施するとともに、広報活動等を実施した。

内部統制強化・コンプライアンス遵守について人材育成や内部業務監査と外部点検の強化等を柱とする25項目の課題解消は達成されているので、本年については、前項の対処として行った体制整備、ルールの明確化、規程制定などにつき、それらの定着を推進し、運用を確実なものとするための取り組みを実施している。

1. 組織等

(1) 組織

本年度は、以下の組織によって業務を遂行した。



(2) 役員

令和8年3月31日現在の役員（理事及び監事）は、次のとおりである。

理事長（常勤） 堀尾容康

専務理事（常勤） 山崎正史

理事（非常勤） 江口和広

（一般財団法人関東電気保安協会常務理事）

理事（非常勤） 菊地康二

（一般社団法人日本電気協会専務理事）

理事（非常勤） 古関隆章

（東京大学大学院工学系研究科電気系工学専攻教授）

理事（非常勤） 高野憲一郎

（全日本電気工事業工業組合連合会副会長）

理事（非常勤） 中西英夫

（電気事業連合会専務理事）

理事(非常勤) 日置賢司
(公益社団法人全国工業高等学校長協会副理事長)
理事(非常勤) 山根香織
(主婦連合会常任幹事)
監事(非常勤) 佐藤育子
(東京電力ホールディングス(株)執行役員経営技術戦略研究所長)
監事(非常勤) 蛭田朝子
(蛭田公認会計士事務所代表)
(非常勤理事名及び監事名は五十音順に記載)

(3) 職員等

令和8年3月31日現在の職員等の人数は、次のとおりである。

職員28名

臨時職員等3名

統括判定員11名

派遣社員等受験申込受付期間を中心に、受付、電話対応等の受験者対応等業務に延べ1,542人の派遣社員が従事した。
また、免状交付業務に延べ246人の臨時職員が従事した。

2. 理事会及び評議員会の開催等

(1) 理事会及び評議員会を次のとおり開催した。

第36回理事会: 令和7年5月26日開催

議題「令和6年度事業報告書(案)の件」(決議)

「令和6年度決算報告書(案)の件」(決議)

「令和6年度公益目的支出計画実施報告書(案)の件」(決議)

「人事評価制度の導入に向けた基本の方針(案)」(決議)

「第24回評議会(臨時)第25回評議員会(定時)の日時及び場所並びに目的である事項の件」(決議)

第24回評議員会(臨時): 令和7年6月5日開催

議題「理事及び監事の選任に関する件」(決議)

「評議員の選任に関する件」(決議)

第25回評議員会(臨時): 令和7年6月19日開催

議題「令和6年度事業報告の件」(決議)

「令和6年度決算報告の件」(決議)

「令和6年度公益目的支出計画実施報告の件」(報告)

「業務監査・コンプライアンス推進状況の件」(報告)

「令和7年度事業計画書及び収支予算書の件」(報告)

「CBT通信障害に伴う振替措置実施の件」(報告)

第37回理事会:令和7年6月19日開催
議題「理事長(代表理事)及び専務理事の選定の件」(決議)

第38回理事会:令和7年12月8日(書面決議)
議題「評議員の選任の件」(決議)

第26回評議員会(臨時):令和7年12月25日(書面決議)
議題「評議員の選任の件」(決議)

第39回理事会:令和8年2月24日開催
議題「令和7年度基本財産取崩額の変更について」(決議)
「令和8年度事業計画書(案)に関する件」(決議)
「令和8年度収支予算書(案)に関する件」(決議)
「就業規則の改定についての件」(決議)
「業務監査・コンプライアンス推進状況に関する件」(報告)

(2)入札等審査委員会の開催

入札等審査委員会を次のとおり開催した。

第1回:令和7年4月21日開催
「令和8年度からサービス形態で利用する電気技術者試験に係る機械処理システム運用・処理業務について」(審議)

第2回:令和7年7月3日(書面決議)
「令和8年度からサービス形態で利用する電気技術者試験にかかる機械処理システム運用・処理業務の入札にかかる落札候補者の決定について」(審議)

第3回:令和7年9月24日開催
「令和8年度及び令和9年度電気工事士試験用材料の調達について(一般競争:最低価格落札方式)」(審議)
「令和8年度PBT試験及び技能試験に係る電気技術者試験実施業務の委託について(一般競争:総合評価落札方式)」(審議)
「令和8年度、令和9年度及び令和10年度CBT試験に係る電気技術者試験実施業務の委託について(一般競争:総合評価落札方式)」(審議)
「令和7年度随意契約について」(報告)

第4回:令和7年10月3日開催
「令和8年度及び令和9年度電気工事士試験用材料の調達の仕様書、令和8年度PBT試験及び技能試験に係る電気技術者試験実施業務の委託の仕様書、令和8年度、令和9年度及び令和10年度CBT試験に係る電気技術者試験実施業務の委託の仕様書について」(審議)

第5回:令和7年11月26日開催

「令和8年度及び令和9年度電気工事士試験用材料の入札結果について(一般競争:最低価格落札方式)」(審議)

「令和8年度PBT試験及び技能試験に係る電気技術者試験実施業務の入札結果について(一般競争:総合評価落札方式)」(審議)

「令和8年度、令和9年度及び令和10年度CBT試験に係る電気技術者試験実施業務の入札結果について(一般競争:総合評価落札方式)」(審議)

リモート採点システムの導入について(審議)

3. 業務監査・コンプライアンスの推進

(1) 人材育成

役職員(派遣職員を含む)全員に対し、座学及びeラーニングによる下記の研修を実施した。

なお、①～⑥の座学は、役員および職員が講師となり、令和7年1月20日及び1月21日の2日分けて研修を実施した。

- ①「カスタマーハラスメント研修」により内部で基本方針を明確にしており、カスタマーハラスメントにあった場合、又はそのような行為がなされるおそれがある場合の対応方法について教育研修を実施した。
- ②「育児・介護休業法改正についての研修」により法令改正に基づくセンターの規程を説明した。
- ③「63歳定年退職者の再雇用についての研修」により65歳まで安定した雇用を確保することを説明した。
- ④「中小受託取引適正化法の研修」により契約相手(受注側)からの値上げ交渉には誠実に対応することなどについての説明をした。
- ⑤「熱中症対策についての研修」により熱中症の恐れがある者を発見した場合の対策について説明を行った。
- ⑥「災害時の危機対応の研修」により、主に火災についての対応方法についての理解を深めるための教育研修を実施した。
- ⑦「個人情報保護の実務教育」について、専門講師を招いての座学とeラーニングによる研修を実施した(令和7年11月17日～令和8年2月5日)
- ⑧「情報セキュリティ強化」について、eラーニングによる2つの研修を実施した(令和8年1月19日～2月20日)
 - ・組織を守る情報セキュリティ講座
 - ・テストで学ぶ情報セキュリティ

(2) 業務監査・コンプライアンス推進委員会の開催

統括責任者である専務理事及び推進事務局の長である総務部長を中心にコンプライアンス推進計画を整理・検討し、組織内に潜在していた問題が露呈したのではないかといった視点に立ち、規則の再確認、これまでの業務の課題や問題点等について点検及び改善を行うとともに、コンプライアンス事案の改善計画及び推進状況を取りまとめ、計2回の業務監査・コンプライアンス推進委員会にて、推進状況を報告した。

また、業務に係る一般競争入札の開札において、落札候補とする手続きに誤認についての再発防止として、下期に行った入札案件ごとにフローやマニュアルを作成し、事前にリハーサルを行うことで、手順を徹底した。その結果、本番の入札(「令和8年度及び令和9年度電気工事士試験用材料の入札」、「令和8年度PBT試験及び技能試験に係る電気技術者試験実施業務の入札」、「令和8年度、令和9年度及び令和10年度CBT試験に係る電気技術者試験実施業務の入札」)では問題なく確実かつ公正に執り行うことができたことを報告した。

第1回：令和7年10月30日開催

「コンプライアンス推進状況」(審議)

「業務監査の実施及び対応状況」(審議)

「その他」

第2回：令和8年2月3日開催

「コンプライアンス推進状況」(審議)

「業務監査の実施及び対応状況」(審議)

(3) 外部監査の実施

① 会計監査人による監査

【中間監査】

令和7年11月19日、25日及び26日に会計監査人による内部統制及び令和7年度の期首残高における監査を受検し、内部統制に関する考え方、期首における会計処理について報告した。

【期末監査】

令和8年4月24日及び28日に会計監査人による内部統制及び令和7年度の期末残高における監査を受検した。今後、5月14日の監事監査において無限定適正意見を付した監査結果報告書を受領し、理事会に上程し、審議することとなる。

② 個人情報の適正な取扱い

経済産業省と締結した電気主任技術者免状交付事務委託契約書に基づき、免状交付事務において取り扱う受験合格者の個人データ及び保有個人情報については、Pマークを取得したことから職員による監査は行っていない。

(4) 業務監査の実施

①業務監査の実施

業務監査・コンプライアンス推進規定に基づき、試験業務部、工事士試験部、主任技術者試験部、受験総合支援センター、情報管理政策室及び総務部の業務運営及び契約手続き等について、業務監査チェック表に基づき業務活動が諸規程に準拠した適正な組織・制度を通じて正当、かつ合理的に運営されているかを監査した。また、業務監査の実施により改善すべき項目(指摘項目)として洗い出した内容を業務改善計画書に落とし込み、各部において改善の措置内容及び目途を提出させた。

②監事への報告

業務監査の実施、改善すべき項目(指摘項目)として洗い出した内容の業務改善計画書及び改善計画の進捗状況の再監査を含め、今後の業務監査の実施について令和7年12月に監事へ報告した。

4. 業務・規程の見直し

(1)CBT(Computer Based Testing)方式試験の導入

第一種・第二種電気工事士試験の通信障害対応について、693名の再受験に関して、返金やPBTによる出前試験などあらゆる方法に対応して、全員の手続きが完了した。また、通信障害の原因を究明し、下期に向けて対策を行った。その結果、下期試験については、特段の支障はなく、試験を実施することができた。

(2)規程の見直し等

人事規程導入のための就業規則の改定、63歳定年者の再雇用の規程の新設、給与規程の一部改正を、令和8年2月24日開催の定時理事会において報告した。

(3)個人情報保護の意識向上

令和7年度におけるプライバシーマーク(Pマーク)関連活動の概要は以下のとおりである。

- ・個人情報台帳およびリスク対策の見直し(令和7年度運用版として、年度初に見直しを実施)
- ・実務教育(試験センターにおける役職員全員に対し、令和7年11月～12月に実施)
- ・内部監査およびマネジメントレビュー(令和7年12月に実施)

5. 試験の申込み

(1) 令和7年度試験の申込状況

(単位:人)

| 試験の種類 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度 a | 令和7年度 b | 前年度差 b-a | |
|-------------|-----------|---------|------------|------------|-------------|--------|
| 電気主任技術者試験 | | | | | | |
| 第一種 | 2,015 | 2,012 | 2,042 | 2,153 | 111 | |
| 一次試験申込者 | 1,708 | 1,685 | 1,660 | 1,805 | 145 | |
| 一次試験免除者 | 307 | 327 | 382 | 348 | △34 | |
| 第二種 | 8,661 | 8,976 | 9,815 | 10,143 | 328 | |
| 一次試験申込者 | 7,517 | 7,432 | 8,614 | 8,471 | △143 | |
| 一次試験免除者 | 1,144 | 1,544 | 1,201 | 1,672 | 471 | |
| 第三種 | 85,929 | 70,810 | 66,628 | 66,551 | △77 | |
| CBT方式申込者 | - | 11,850 | 19,945 | 22,947 | 3,002 | |
| 筆記方式申込者 | - | 58,960 | 46,683 | 43,604 | △3,079 | |
| 合計 | 96,605 | 81,798 | 78,485 | 78,847 | 362 | |
| 電気工事士試験 | | | | | | |
| 第一種 | 49,636 | 45,819 | 50,511 | 50,937 | 426 | |
| 学科試験 申込者 | CBT 方式 | - | 3,071 | 17,586 | 20,106 | 2,520 |
| | 筆記 方式 | 43,059 | 35,328 | 22,460 | 20,765 | △1,695 |
| 学科試験免除者 | 6,577 | 7,420 | 10,465 | 10,066 | △399 | |
| 第二種 | 188,431 | 173,133 | 172,108 | 185,056 | 12,948 | |
| 学科試験 申込者 | CBT 方式 | - | 18,322 | 23,250 | 29,489 | 6,239 |
| | 筆記 方式 | 163,736 | 132,524 | 125,191 | 127,060 | 1,869 |
| 学科試験免除者 | 24,695 | 22,287 | 23,667 | 28,507 | 4,840 | |
| 合計 | 238,067 | 218,952 | 222,619 | 235,993 | 13,374 | |
| | | | | | | |
| 総計 | 334,672 | 300,750 | 301,104 | 314,840 | 13,736 | |

(2) 受験申込受付業務

① 申し込み方法

(単位:%)

| | | 令和6年度 | 令和7年度 |
|-----------|-------|-------|-------|
| 電気主任技術者試験 | 郵便申込 | 0.7 | 0.4 |
| | ネット申込 | 99.3 | 99.6 |
| 電気工事士試験 | 郵便申込 | 0.2 | 0.2 |
| | ネット申込 | 99.8 | 99.8 |

② 受験手数料決済方法

(単位:%)

| | 電気主任技術者試験 | 電気工事士試験 |
|------------|-----------|---------|
| 銀行振込 | 3.1 | 13.5 |
| コンビニ決済 | 24.9 | 36.4 |
| クレジットカード | 70.8 | 48.6 |
| Pay-easy決済 | 1.3 | 1.5 |

6. 試験の実施

(1) 試験委員会の活動

① 第一種・第二種電気主任技術者試験委員会

(イ) 試験委員会

第64回試験委員会:令和7年9月10日開催

主要議題「令和7年度一次試験の合否の決定について」

「令和8年度試験問題作成委員の決定について」

第65回試験委員会:令和8年1月22日開催

主要議題「令和7年度二次試験の合否の決定について」

(ロ) 部会

試験問題の決定を行う部会を、理論:6月16日、電力:6月13日及び7月23日、機械:5月27日及び7月25日、法規:5月21日及び7月16日にそれぞれ開催した。

試験問題の作成に関し、4科目合同部会を1回開催した。また、その間災害等に対応するための試験問題準備の方針を立て、予備問題の整備を完了した。

(ハ)小委員会等

試験問題を検討するため、理論、電力、機械及び法規の各科目別小委員会を計15回開催し、小委員会を補完する分科会を開催した。

(ニ)レビュー委員によるレビュー

小委員会において検討が終了した試験問題案について、各科目2回ずつレビューを実施した。

②第三種電気主任技術者試験委員会

(イ)試験委員会

第66回試験委員会：令和7年9月12日開催

主要議題「令和7年度上期試験の可否の決定について」

「令和8年度試験問題作成委員の決定について」

第67回試験委員会：令和8年4月3日開催

主要議題「令和7年度下期試験の可否の決定について」

(ロ)部会

試験問題の決定を行う部会を、理論：6月11日、電力：5月29日、機械：5月28日、法規：6月9日にそれぞれ開催した。

試験問題の作成に関し、4科目合同部会を1回開催した。

(ハ)小委員会等

試験問題を検討するため、理論、電力、機械及び法規の各科目別小委員会を計12回開催し、小委員会を補完する分科会を開催した。

(ニ)レビュー委員によるレビュー

小委員会において検討が終了した試験問題案について、各科目2回ずつレビューを実施した。

③第一種電気工事士試験委員会

(イ)試験委員会

第124回試験委員会：令和7年8月28日開催

主要議題「令和7年度上期試験の結果報告について」

「令和8年度技能試験候補問題の決定について」

第125回試験委員会：令和8年2月6日開催

主要議題「令和7年度下期試験の結果報告について」

「令和8年度試験問題の決定について」

(ロ)小委員会等

試験問題を検討するため、学科試験(4回)及び技能試験(3回)の各小委員会を計7回開催した。コメンテーター・問題作成委員調整会を学科試験科目について1回開催した。

(ハ)レビュー委員によるレビュー

学科試験科目：小委員会における検討の後、2回実施した。

技能試験科目：小委員会における検討の後、1回実施した。

④第二種電気工事士試験委員会

(イ)試験委員会

第146回試験委員会:令和7年9月5日開催

主要議題「令和7年度上期試験の結果報告について」
「令和8年度技能試験候補問題の決定について」

第147回試験委員会:令和8年2月13日開催

主要議題「令和7年度下期試験の結果報告について」
「令和8年度試験問題の決定について」

(ロ)小委員会等

試験問題を検討するため、学科試験(5回)及び技能試験(1回)の各小委員会を計6回開催した。

学科試験問題の配線図を検討するため、分科会を1回開催した。

コメンテーター・問題作成委員調整会を学科試験科目について1回開催した。

(ハ)レビュー委員によるレビュー

学科試験科目:小委員会における検討の後、2回実施した。

技能試験科目:小委員会における検討の後、1回実施した。

⑤試験問題作成の透明性の確保の観点から、試験問題の作成に直接携わった委員の氏名をホームページで公表した。

(2)試験の実施

①電気主任技術者

(単位:人)

| 試験区分 | | 試験日 (注3) | 試験地数 (会場数) | 受験者数 (昨年度 増減) | 合格者数 (昨年度 増減) (注1,2) | 合格率 (%) (昨年度 増減) (注3) | 監督員 等数 | |
|------|------------------------|-------------|-------------------------|---------------------|-------------------------------|-----------------------------------|----------------|-------|
| 第一種 | 一次試験 | 8月31日(日) | 10 (10) | 1,569 (136) | 502 (74) | 32.0 (2.1) | 136 | |
| | 二次試験 | 11月16日(日) | 10 (10) | 772 (52) | 245 (133) | 31.7 (16.1) | 78 | |
| 第二種 | 一次試験 | 8月31日(日) | 10 (15) | 7,211 (△268) | 2,524 (365) | 35.0 (6.1) | 270 | |
| | 二次試験 | 11月16日(日) | 10 (12) | 3,692 (770) | 611 (58) | 16.5 (△2.4) | 390 | |
| 第三種 | 上期 (一次 試験 のみ) | CBT 方式 | 7月17日(木) ～8月10日(日) | 47 (267) | 24,766 (△650) | 3,201 (△863) | 12.9 (△3.1) | 2,167 |
| | | 筆記 方式 | 8月31日(日) | 52 (61) | | | | |
| | 下期 (一次 試験 のみ) | CBT 方式 | 令和8年2月5日(木) ～3月1日(日) | 47 (265) | 24,176 (△371) | 3,164 (△953) | 13.1 (△3.7) | |
| | | 筆記 方式 | 令和8年3月22日(日) | 52 (62) | | | | |
| 合計 | | | | 62,186 (△331) | 7,221 (△1,625) | | | |

注1:合格者数には、「科目合格者」は含まない。

注2:合格者数の合計欄は、第一種及び第二種の二次試験合格者数並びに第三種の合格者数の計である。

注3:合格率の二段書きは、上段が合格者数/受験者数、下段括弧書きが昨年度増減で単位はポイントである。

②第一種電気工事士試験

(単位:人)

| 試験区分 | | | 試験日 (注3) | 試験地数 (会場数) (注3) | 受験者数 (昨年度 増減) | 合格者数 (昨年度 増減) (注1) | 合格率 (%) (昨年度 増減) (注2) | 監督員 等数 | 判定員 数 |
|-------|----------|-----------|----------------------|-----------------------|---------------------|-----------------------------|-----------------------------------|-----------|----------|
| 上期 | 学科 試験 | CBT 方式 | 4月1日(火) ~5月8日(木) | 47 (243) | 13,524 (1,527) | 7,643 (531) | 56.5 (△2.8) | --- | --- |
| | | 筆記 方式 | --- | --- | | | | | |
| | 技能試験 | | 7月5日(土) | 52 (56) | 11,876 (287) | 6,548 (△59) | 55.1 (△1.9) | 1,687 | 350 |
| 下期 | 学科 試験 | CBT 方式 | 9月1日(月) ~9月18日(木) | 47 (211) | 22,630 (△693) | 13,092 (174) | 57.9 (2.5) | 1,897 | --- |
| | | 筆記 方式 | 10月5日(日) | 52 (59) | | | | | |
| | 技能試験 | | 11月22日(土) | 52 (62) | 16,527 (△256) | 9,961 (△436) | 60.3 (△1.6) | 2,086 | 445 |
| 学科試験計 | | | | | 36,154 (834) | 20,735 (705) | 57.4 (0.7) | 1,897 | --- |
| 技能試験計 | | | | | 28,403 (31) | 16,509 (△495) | 58.1 (△1.8) | 3,773 | 795 |
| 合計 | | | | | 64,557 (865) | 37,244 (210) | | | 795 |

注1:合格者数の合計欄は、技能試験合格者数の計である。

注2:合格率の二段書きは、上段は合格者数/受験者数、
下段括弧書きは昨年度増減で単位はポイントである。

③第二種電気工事士試験

(単位:人)

| 試験区分 | | | 試験日 (注3) | 試験地数 (会場数) (注3) | 受験者数 (昨年度 増減) | 合格者数 (昨年度 増減) (注1) | 合格率 (%) (昨年度 増減) (注2) | 監督員 等数 | 判定員 数 |
|-------|----------|-----------|------------------------|-----------------------|---------------------|-----------------------------|-----------------------------------|-----------|----------|
| 上期 | 学科 試験 | CBT 方式 | 4月21日(月) ~5月8日(木) | 47 (243) | 70,945 (806) | 40,942 (△1,252) | 57.7 (△2.5) | 4,554 | --- |
| | | 筆記 方式 | 5月25日(日) | 56 (103) | | | | | |
| | 技能試験 | | 7月19日(土) 7月20日(日) | 55 (108) | 51,576 (908) | 37,158 (1,209) | 72.0 (1.0) | 4,877 | 1,132 |
| 下期 | 学科 試験 | CBT 方式 | 9月19日(金) ~10月6日(月) | 47 (240) | 68,142 (5,819) | 37,769 (2,918) | 55.4 (△0.5) | 4,723 | --- |
| | | 筆記 方式 | 10月26日(日) | 52 (97) | | | | | |
| | 技能試験 | | 12月13日(土) 12月14日(日) | 52 (102) | 48,034 (4,464) | 34,313 (4,047) | 71.4 (1.9) | 4,620 | 1,019 |
| 学科試験計 | | | | | 139,087 (6,625) | 78,711 (1,666) | 56.6 (△1.6) | 9,277 | --- |
| 技能試験計 | | | | | 99,610 (5,372) | 71,471 (5,256) | 71.8 (1.5) | 9,497 | 2,151 |
| 合計 | | | | | 238,697 (11,997) | 150,182 (6,922) | | | 2,151 |

注1:合格者数の合計欄は、技能試験合格者数の計である。

注2:合格率の二段書きは、上段は合格者数/受験者数、
下段括弧書きは昨年度増減で単位はポイントである。

(3) ふりがな(ルビ)付き試験問題の実施

受験者の申請に基づき、試験問題の漢字にふりがな(ルビ)を付した試験問題で試験を実施した。第三種試験は12名、第一種電気工事士試験は131名、第二種電気工事士試験は750名であった。

(4) 技能試験候補問題の公表

第一種電気工事士技能試験については候補問題を令和7年1月7日に、第二種電気工事士技能試験については候補問題を令和7年1月17日に、それぞれ公表した。

(5) 電気工事士技能試験における「欠陥の判断基準」の公表

技能試験の合否判定の基準となる「欠陥の判断基準」及び、技能試験の受験において理解してもらいたい要点をまとめた「技能試験の概要と注意すべきポイント」を昨年に引き続き公表した。

(6) 統括判定員制度の運用

電気工事士技能試験の判定業務に関する登録判定員の確保、試験会場別の判定員の選定・配置等を行うため、全国9地区に11名の統括判定員を配置した。

(7) 判定員研修の実施

令和7年度からの新たな登録判定員(54名)を対象として、新人判定員研修会を9会場(札幌、仙台、東京、名古屋、富山、大阪、広島、高松、福岡)で実施した。

(8) 試験実施業務の委託

会場設営、試験監督等の試験実施業務は、第一種・第二種電気主任技術者試験(一次・二次)、第三種電気主任技術者試験(上期)は(株)トライ・アットリソースに、第一種・第二種電気工事士試験(上期・下期)、第三種電気主任技術者試験(下期)は(株)全国試験運営センターに委託し実施した。

また、令和8年度の試験業務実施における入札は、令和7年度と同様に、入札対象業務を分割して参入の機会を増やすとともに開札方式を変更し、人件費や物件費が高騰する中、競争性を高めるなど経費節減に努めた。

7. 電気事業法に基づく電気主任技術者免状の交付事務

電気事業法第44条の2第1項の規定により、経済産業省と締結した電気主任技術者免状交付事務委託契約書に基づき電気主任技術者試験合格者からの申請を受けて、免状の交付を行った。本年度中に交付した免状は、第一種が114件、第二種が544件、第三種が8,966件であった。

8. 業務情報化の推進

(1) 次期・機械処理システムの開発・運用開始

受験者の利便性向上と試験センター職員の業務効率化を念頭にマイページの複数年保持や試験結果通知書再発行等がマイページから申請できるなど仕様を盛り込んだ、システム開発を令和7年中に行い令和8年度試験申込受付より運用を開始した。

(2) 受付業務

受験申込手続きについては、インターネットを利用できない等のやむを得ない場合を除き、インターネット申込手続きへの移行を推進した。

電気主任技術者試験の郵便受付は総数340件で全体の0.4%、電気工事士試験の郵便受付は総数549件で全体の0.2%となっている。

(3) 試験業務におけるAIの導入可能性等に関する基礎的研究

業務における事務処理の効率化を図るため、生成AIの活用方法とリスクを研修し、導入に向け検討を継続している。

(4) リモート採点の共同研究

電気主任技術者二次試験では、採点者が答案用紙に手書きで採点を行うという旧来からの方法を採用している。採点処理に係る事務処理、特に時間と場所に大きな制約を伴うことから採点処理業務の効率化に向けてシステム会社と共同研究を行った。実際にシステム検証を行うこととし、二次試験への円滑な導入に向けての検討を開始した。

9. 機械処理システム運用・処理業務システムの運用及び新規開発

現行システムの契約が令和7年度末で満了。令和7年中に開発した新たな機械処理システム運用・処理業務のシステムの運用を2月に開始した。新たな機能としてマイページの新規作成時に受験者個人の特定を図るために登録メールアドレスに認証コードを送付し認証手続きを加えたことや、マイページの複数年保持、試験結果通知書再発行、受験取消申請者への返金機能など業務の効率化と受験者の利便性向上を図った。

10. 公益目的事業について

公益目的支出計画に基づき、「電気技術者に関する調査研究事業」及び「電気技術者資質向上事業」の2事業を実施した。

(1) 電気技術者に関する調査研究事業

① 電気技術者試験受験者実態調査

本年度の受験申込者を対象に、新規申込者の実態把握を目的とした調査を実施し、調査結果を報告書としてまとめ公表した。

<調査の実施方法等>

(イ)「電気主任技術者試験(第一種～第三種)」インターネット受験申込時アンケート調査

・令和7年5月19日～6月5日、令和7年11月10日～11月27日(第三種下期)

回答者数76,525人

(ロ)「第一種電気工事士筆記試験」インターネット受験申込時アンケート調査

・令和7年2月14日～3月3日(上期)令和7年7月28日～8月14日(下期)

回答者数40,805人

(ハ)「第二種電気工事士筆記試験」インターネット受験申込時アンケート調査

・令和7年3月17日～4月7日(上期)令和7年8月18日～9月4日(下期)

回答者数156,160人

② 電気技術者活動実態調査

本調査は、電気主任技術者試験及び電気工事士試験合格者の活動実態を把握することを目的として、電気技術者試験(電気主任技術者及び電気工事士)に合格し資格取得後に様々な分野で活躍する電気技術者に職員自らがインタビュー調査を行い、資格取得を通じて活躍できる具体的事例から電気技術者の資格取得意義を広く公表した。

主眼として、男性女性それぞれの視点で電気工事に携わっている方々の体験や経験を通して、電気技術者としての魅力を伝えることとし、仕事の楽しさやこれから受験しようとする者へのアドバイス等を調査ポイントとして、様々な分野で活躍する方を記事にした。

③ 調査報告の公表

調査結果については、ホームページ上において公表した。

毎年、アンケートの集計結果を公表しており、本年においても「令和7年度

電気技術者試験受験者実態調査」として、当センターのホームページ上において公表した。

公表内容については例年と同様で下記のとおり

- a. 受験者申込の状況: 令和3年から令和7年度の推移
- b. 受験申込者の属性: 令和7年度受験申込者の年代別構成
- c. 受験回数: 令和7年度受験申込者の受験回数
- d. 受験申込者の学生・就業者別属性: 学生と就業者の割合
- e. 就業者の勤務先: 電力会社や建設会社等の業態ごとの割合
- f. 学生の学科、最終学歴(学校種別): 工業高校や大学等の学歴の割合
- g. 受験申込者の受験動機: 就職や能力を試す等の動機の割合
- h. 受験申込者数の増減要因等: 受験者推移を業態ごとに見て考察
- i. アンケートの母集団について: アンケート対象者の構成

なお、本調査は、受験申込みを行った方(314,840)から任意で回答いただいたアンケートの結果をもとに集計している。

(2) 電気技術者資質向上事業

電気技術者資質向上事業は、支援先をホームページ上で公募したところ、12件の応募があり、「電気技術者資質向上アドバイザー委員会」の審議を経て、以下の事業を支援先として採択した。また、事業実施状況をホームページ上に公表した。

- ①第25回高校生ものづくりコンテスト北海道ブロック大会電気工事部門
(主催: 北海道工業高等学校長協会)
- ②令和7年度高校生ものづくりコンテスト中国地区大会電気工事部門
(主催: 電気工事部門実行委員会)
- ③第21回高校生ものづくりコンテスト四国大会(電気工事部門)
(主催: 徳島県立つるぎ高等学校)
- ④第24回高校生ものづくりコンテスト九州地区大会
(主催: 佐賀県立鳥栖工業高等学校)
- ⑤高校生ものづくりコンテスト2025東北大会【秋田大会】[電気工事部門]
(主催: 東北地区工業高等学校長会)
- ⑥令和7年度第24回高校生ものづくりコンテスト東海大会電気工事部門
(主催: 東海地区工業高等学校長教育研究会)
- ⑦令和7年度第24回関東甲信越地区電気教育研究会電気工事コンテスト山梨大会兼第25回高校生ものづくりコンテスト全国大会電気工事部門関東予選会
(主催: 関東甲信越地区電気教育研究会)

- ⑧高校生ものづくりコンテスト電気工事部門北信越大会
(主催:富山県立魚津工業高等学校)
- ⑨第30回配電工事安全技能競技会
(主催:北陸電気工事組合連合会)
- ⑩第37回引込および内線工事技能オリンピック大会
(主催:中部電気工事協力会連合会)
- ⑪第25回高校生ものづくりコンテスト全国大会電気工事部門
(主催:徳島県立つるぎ高等学校)
- ⑫第54回全九州技能競技大会
(主催:一般社団法人全九州電気工事業協会)

(3) 電気技術者資質向上アドバイザー委員会

令和7年度の電気技術者資質向上事業及び電気技術者活動実態調査の取材結果について令和8年3月の委員会において報告した。

(4) 電気技術者育成支援表彰制度

我が国の電気インフラの担い手となる電気技術者を目指そうとする者に対する取り組み、教育プログラム、若手技術者の育成をテーマにした取り組みについて、教育機関や業界団体と検討を進めた。

11. 広報活動の推進

(1) ホームページ等による広報活動の充実

ホームページについて、昨年からデザイン・レイアウト等を一新し、受験者の利便性上を向上させるなど、目的の情報・手続きに容易に到達できるよう構成を見直すとともに、グラフィックや映像などを豊富に取り込むことにより理解度の向上に努めた。

①SEO(Search Engine Optimization)対策への取り組み

検索エンジンの検索結果で当センターホームページを上位表示させるための最適化施策として、AIの検索に着目、「電気工事士」などのキーワードでAI検索を行った際に、AIが参照するサイトとして、当センターのホームページを採用してもらえるように、サイト内のページ構成を練っている。初歩の段階であるが、1つのページについて対策をしたところ、AIを利用した結果から当センターのホームページを検索した件数が、行う前と比べて400%増加したことから、この施策の効果は大きいという知見を得られた。

②申込に関する動画制作

近年の総合支援センターへの電話問い合わせ状況等を踏まえ、カスタマー対応の一環として、受験案内の他に申込の手順を動画にして、ホームページに掲載することを検討し、令和8年度より導入することとした。

これにより、総合支援センターの電話対応の負担が軽減され、受験者にとっても申込しやすい環境を整えることができる。

(2)情報の周知広報

試験日程等を周知するためのリーフレット・ポスター等を製作し、周知広報に努めるとともに、ホームページにおいて、技能試験候補問題の事前公表、試験問題及び解答の公表等の試験関連情報はもとより、判定員の公募、一般競争入札の公告等外部向け情報の発信を積極的に行った。

また、SNS上での当センターを偽ったサイトの対抗策として、一時的ではあるが、当センターの公式ホームページ以外から情報は発信していない旨の情報を発信している。

(3)受験者に対する対応

カスハラへの対応を強化し、職員(派遣職員を含む)や国家試験業務の保護、苦情の激化抑制等を目的に、関係法令及び東京都条例に基づき、「カスタマーハラスメントに対する対応指針」制定を進めた(令和7年4月1日付制定)。また、電気技術者試験の合否の結果をホームページから検索できるサービスを行った。

また、近年筆記方式での試験日の試験終了時間に速報性を争い「解答速報」をネット上で公開している事案が散見され、試験の公正性の観点からそのような事業者への注意喚起を行うことを検討した。一方で当センターが適切と認める事業者については、「電気技術者試験に係る解答情報を速報するサービス(解答速報)」に関する合意書を取り交わした。

また、当センターホームページに掲載している受験案内において、試験終了後、速やかに試験問題とその解答を掲載することを示した。

(4)「認知度向上・入職促進に向けた協議会」における中長期的人材確保の強化

電気保安・電気工事業界の認知度向上と入職促進に向けて、業界横断的に取り組み、中長期的に人材を確保することを目的に、令和元年7月に設立された「電気保安・電気工事業界の認知度向上・入職促進に向けた協議会」に参画するとともに、同協議会が運用するウェブサイトやSNSを活用して周知・広報を行った。

[参考]試験合格者推移

(単位:人)

| | 電気主任技術者試験 | | | | 電気工事士試験 | | | 合計 |
|------------------------|-----------|--------|---------|---------|---------|-----------|-----------|-----------|
| | 第一種 | 第二種 | 第三種 | 小計 | 第一種 | 第二種 | 小計 | |
| 昭和60年度～ 令和元年度の 計 | 1,852 | 9,301 | 146,380 | 157,533 | 284,674 | 1,408,815 | 1,693,489 | 1,851,022 |
| 令和2年度 | 134 | 701 | 3,836 | 4,671 | 13,558 | 52,868 | 66,426 | 71,097 |
| 令和3年度 | 72 | 413 | 4,357 | 4,842 | 17,260 | 84,684 | 101,944 | 106,786 |
| 令和4年度 | 143 | 698 | 7,307 | 8,148 | 16,672 | 70,888 | 87,560 | 95,708 |
| 令和5年度 | 129 | 474 | 9,894 | 10,497 | 15,834 | 67,749 | 83,583 | 94,080 |
| 令和6年度 | 112 | 553 | 8,181 | 8,846 | 17,004 | 66,215 | 83,219 | 92,065 |
| 令和7年度 | 245 | 611 | 6,365 | 7,221 | 16,509 | 71,471 | 87,980 | 95,201 |
| 合計 | 2,687 | 12,751 | 186,320 | 201,758 | 381,511 | 1,822,690 | 2,204,201 | 2,405,959 |

注1:第一種・第二種電気主任技術者試験は平成9年度より実施

注2:第一種電気工事士試験は昭和63年度より実施